

令和7年度

# 学校評価



碧南市立棚尾小学校

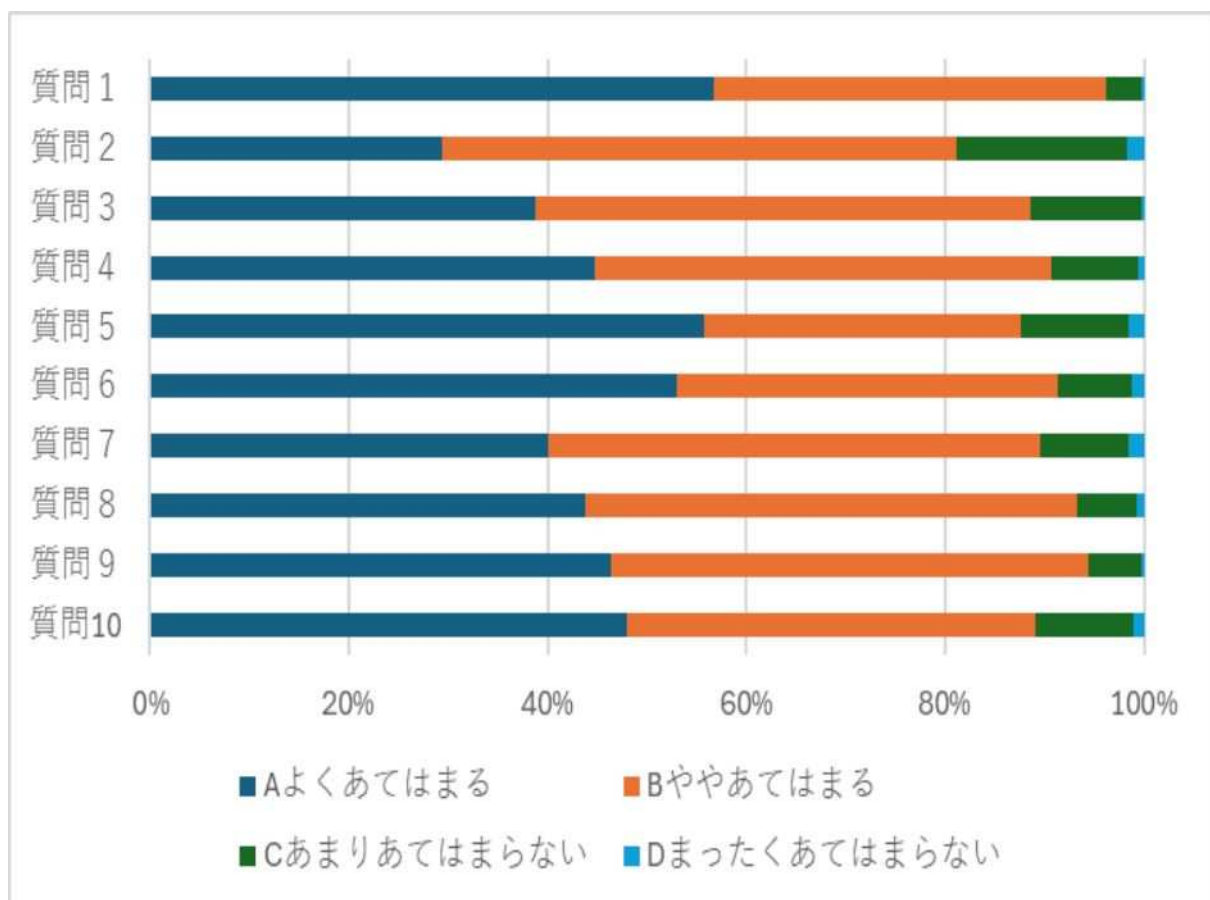


実施日 令和7年12月11日（木）～17日（水）【保護者・子ども・職員】

令和8年 1月15日（木） 【学校関係者】

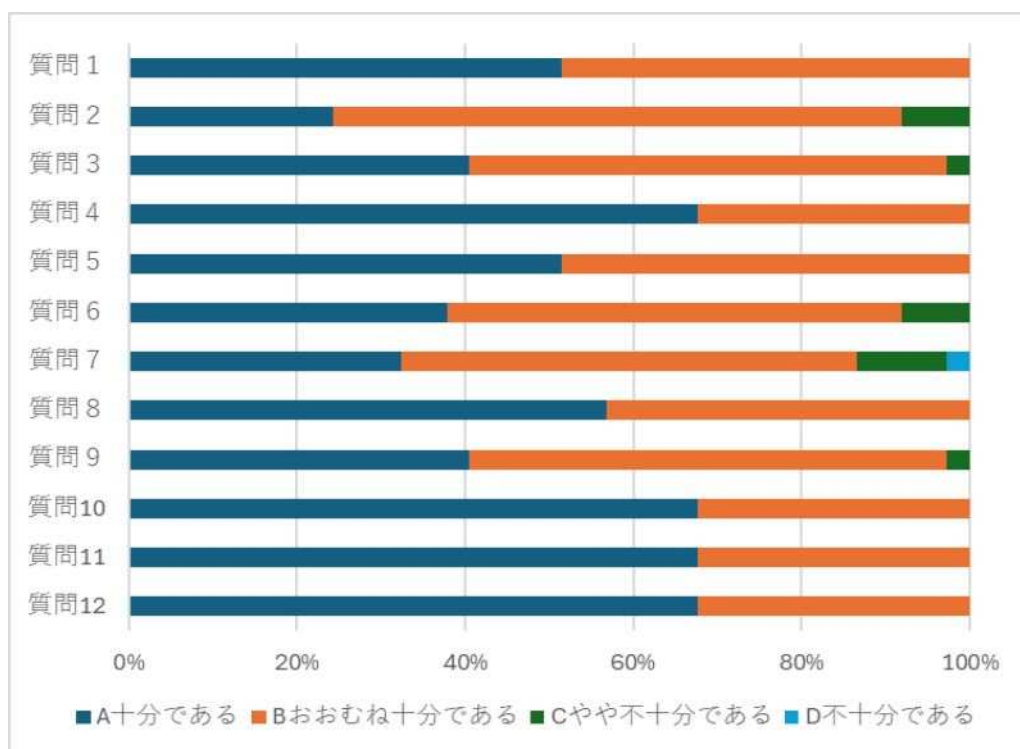
- 1 保護者 A よくあてはまる（まったくそう思う） B ややあてはまる（ややそう思う）  
C あまりあてはまらない（あまりそう思わない） D まったくあてはまらない（まったく思わない）

	内 容	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)
質問1	お子さんは、学校生活を楽しく過ごしている。	56.7	39.5	3.5	0.9
質問2	お子さんは、授業が楽しく分かりやすいと言っている。	29.3	51.8	17.1	2.4
質問3	お子さんは、あいさつがよくできている。	38.7	49.8	11.8	0.2
質問4	先生は、子どもの話をよく聞いていてくれる。	44.7	46.0	8.7	1.1
質問5	先生は、子どもたちの教育に熱心に取り組んでいる。	55.8	31.8	10.9	2.0
質問6	先生は、分かりやすい授業づくりに努力している。	53.0	38.3	7.4	1.3
質問7	学校は、協力一致鬼ごっこ大会などの地区行事にも積極的に協力している。	40.1	49.4	9.0	1.5
質問8	学校は、子どもの体力づくり、学力向上、道徳心の育成に熱心に取り組んでいる。	43.8	49.4	6.0	0.9
質問9	学校は、きれいで整っており、子どもたちにとって過ごしやすい環境である。	46.3	48.1	5.4	1.8
質問10	学校は保護者の悩みや相談に、適切に対応してくれる。	44.3	41.2	9.8	1.1



2 教職員 A 十分である B おおむね十分である C やや不十分である D 不十分である

	内 容	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)
質問 1	学校の教育目標や重点目標は、職員の共通理解が図られ、日々の教育活動で具現化されている。	51.4	48.6	0.0	0.0
質問 2	学校は、子どもたちに基礎学力をつけ、「聞く力・話す力・書く力」を高めることができている。	24.3	67.6	8.1	0.0
質問 3	学校は、校内・登下校の安全確保など危機管理体制の充実を図ることができている。	40.5	56.8	2.7	0.0
質問 4	学校は、いじめ・不登校などの問題で、組織的に対応ができている。	67.6	32.4	0.0	0.0
質問 5	学校は、保護者や地域に必要な情報を発信し、理解と信頼を得ることができている。	51.4	48.6	0.0	0.0
質問 6	私は、分かる喜び、できる喜びを感じさせる授業づくりに努めている。	37.8	54.1	8.1	0.0
質問 7	私は、子どもたちが学校生活を楽しく過ごせるよう、学習環境を整えている。	32.4	54.1	10.8	2.7
質問 8	私は、子どもや保護者の悩みや相談に適切に丁寧に対応できている。	56.8	43.2	0.0	0.0
質問 9	私は、いじめや不登校・問題行動を見逃さない指導や取組をしている。	40.5	56.8	2.7	0.0
質問 10	私は、子どもの生命の安全を第一に考え、教育活動を行っている。	67.6	32.4	0.0	0.0
質問 11	私は、「棚尾小教師心構え」に努め、教職員としての指導力向上に努力している。	67.6	32.4	0.0	0.0
質問 12	私は、勤務時間を管理し、適正な時間で仕事を進めることができるように努力している。	67.6	32.4	0.0	0.0

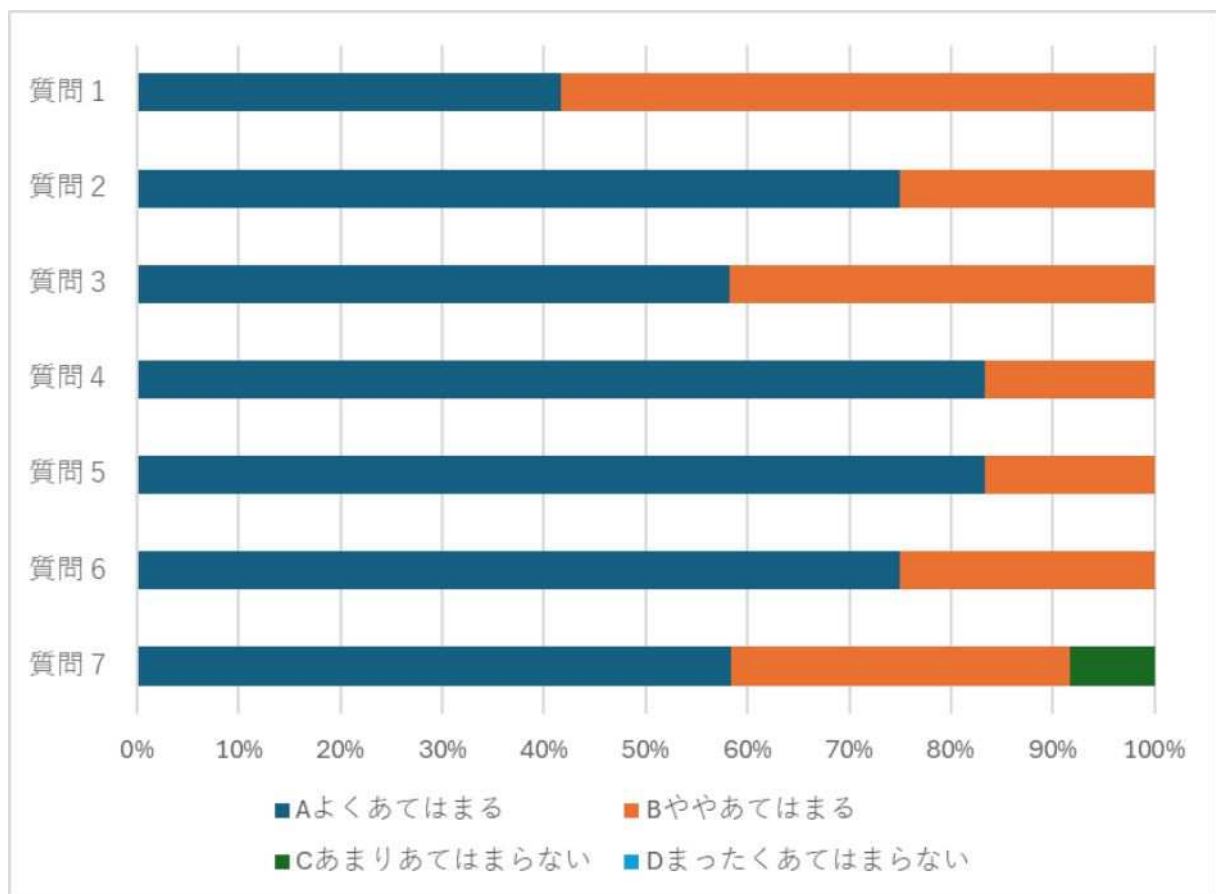


3 学校関係者 A よくあてはまる(まったくそう思う)

B ややあてはまる(ややそう思う)

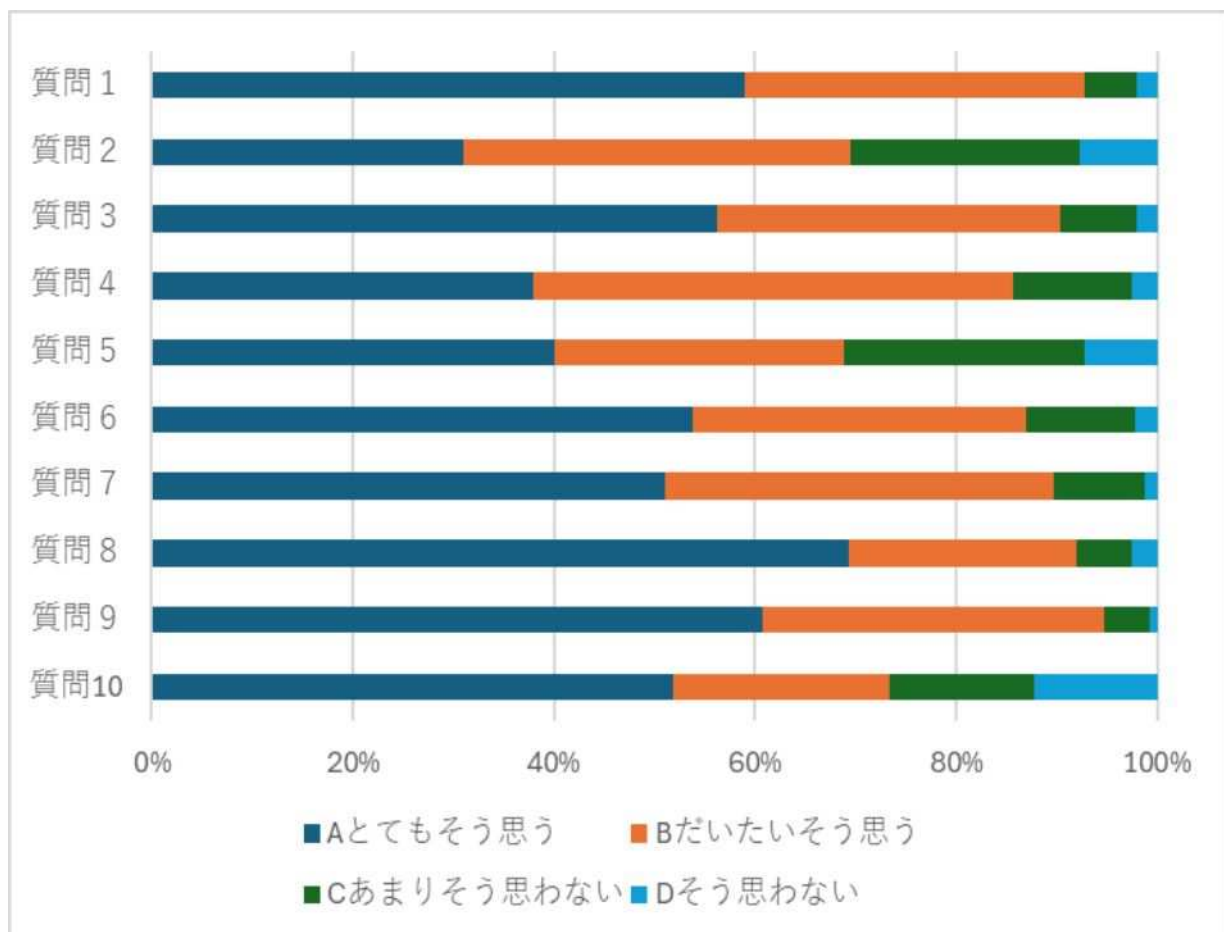
C あまりあてはまらない(あまりそう思わない) D まったくあてはまらない(まったく思わない)

	内 容	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)
質問 1	先生は、子どもが相談したときに、親切に応じてくれる。	41.7	58.3	0.0	0.0
質問 2	先生は、子どもの教育活動に熱心に取り組んでいる。	75.0	25.0	0.0	0.0
質問 3	先生は、保護者の悩みや相談に適切に対応してくれる。	58.3	41.7	0.0	0.0
質問 4	学校は、保護者や地域から信頼される学校づくりに努めている。	83.3	16.7	0.0	0.0
質問 5	学校は、子どもの生命の安全を第一に考え、教育活動を行っている。	83.3	16.7	0.0	0.0
質問 6	学校は、学校公開の取組に努力している。	75.0	25.0	0.0	0.0
質問 7	学校の施設・設備は学習や生活がしやすいように整備されている。	58.3	33.3	8.3	0.0



4 児童 A とても<sup>おも</sup>そう思う B だいたい<sup>おも</sup>そう思う C あまり<sup>おも</sup>そう思わない D そう<sup>おも</sup>思わない

	内 容	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)
質問 1	学校は、楽しいですか。	59.0	33.7	5.3	2.0
質問 2	先生に相談できますか。	30.8	38.6	22.7	7.8
質問 3	授業は、分かりやすいですか。	56.2	34.2	7.6	2.0
質問 4	授業中、先生や友達の話をしっかり聞けていますか。	38.0	47.6	11.9	2.5
質問 5	読書は、よくしますか。	40.1	28.7	23.9	7.3
質問 6	あいさつは、しっかりできていますか。	53.7	33.2	10.9	2.2
質問 7	チャイム着席など、時間を守っていますか。	51.1	38.6	9.0	1.3
質問 8	いじめなどをせず、クラスの子と仲よくできていますか。	69.3	22.6	5.6	2.5
質問 9	掃除は、きちんとできていますか。	60.7	34.0	4.5	0.8
質問 10	長い休み時間（放課）は、外で元気よく遊んでいますか。	51.9	21.4	14.4	12.3



(2) 保護者アンケート記載の主な要望・意見 (○励まし ●要望)

- 担任の先生は適切な指導をしてくださりいつも感謝しています。
- 先生からできたことを褒めていただき喜んでやる気につながっています。今後も子どもそれぞれのよい部分を伸ばしていただけるよう期待しています。
- 尊敬する先生ばかりでとても感謝しております。子どもにとって身近な大人は親と学校の先生なので、子どもが大好きな先生方からよい影響を受けさせていただいていることをありがたく感じております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
- いつもありがとうございます。友人にも恵まれ、毎日楽しそうに過ごし、下校後も遊び回っています。
- 担任のローテーションは心配も多かったですが、子どもも柔軟に対応できて、多くの先生に関われて利点も多いかなと思います。
- 懇談会の時に毎回違う先生に慣れませんが、他の先生ともよく連携してくださっているようで安心しました。見てくれている先生が多い方が子どもにとっていいと思うので、今後も学年全体で見守っていただけると幸いです。
- 分かりやすく楽しい授業をしていただき、子どもの学力が向上しました。先生方を大好きな子どもは、授業以外でも関わりをもつていただけてとても嬉しいようです。たくさんのよい影響をありがとうございます。
- 登校を集団登校に、下校時にシルバーの方の見守りをお願いしたいです。子どもたちがどれだけ気をつけても危ない場面があります。子どもたちだけでは対処に困る場面もあるので、助けをすぐに呼べる環境づくりを検討していただきたいです。
  - ⇒ 登下校については、地域、保護者、学校が連携して見守っていく必要があります。学校にも登下校の様子が心配な旨のご意見が届いています。児童には、全校朝会や町別集会、全校放送で話をしています。これからは、その内容を tetoru で保護者の皆様にもお伝えし、保護者の立場でお子様に話をしていただけるようにしたいと考えています。また、地域の方に児童の下校を見守っていただけるよう相談を始めています。
- トイレスリッパがなく、シューズでトイレを使用していると聞きました。トイレスリッパがあると衛生的だと思うのですが、トイレスリッパを使用しない理由があれば教えていただけると大変ありがたいです。
  - ⇒ 湿式だったときは、シューズの底についたトイレの汚れが広がるのを防ぐためにスリッパを使っていました。本校のトイレは2年前に乾式（ドライ式）になりました。トイレの床が常に乾燥しているので廊下や教室に汚れが持ち込まれる心配が少なく、スリッパの必要性が薄れてきています。また、衛生面への懸念として、不特定多数の子どもたちが同じスリッパを使うことで、かえって不衛生になるという考えもあります。スリッパの履き替えを面倒に感じる子どもも多く、特に、小さい子どもがスリッパを履き替えるときに転倒のリスクも考えられます。トイレの床が清潔に保たれていれば、スリッパに履き替える必要はないとの考えから、本校ではこれまで通りの対応とするとともに、床の清掃を強化していきたいと考えています。
- 悪天候や体調に不安がある場合、車で登校できればいいと思います。
  - ⇒ お車で送ってみえる場合は、棚尾公民館の駐車場でお子さんを降ろすようお願いします。本校の東門前の道路は7:30から8:30まで児童の安全を考え、通行が規制されています。正門前の道路やコンビニ、私有地を乗降場所として使うことも、近隣の皆様への迷惑になりますのでおやめください。
- 働いていると先生に伝えたいことがあっても連絡が取りにくい時があるので、メールできたらうれしいです。
  - ⇒ 碧南市のシステム上、個々とのメールのやり取りはできません。ご理解をお願いします。
- 生徒の学外活動の成果を発表する場を設けてほしいです。
  - ⇒ 本年度から、学外で表彰を受けた場合、賞状を学校にお持ちいただければ、お昼の全校

放送で紹介をするようにしています。

● 5、6年生の学年担任制は実施してどうだったのか。

⇒ よかった点として2点あります。一つ目として、生徒指導上の問題や、児童及び保護者の相談に、複数の教員が対応できました。その結果、問題解決が遅滞することなくできました。また、学年担当教員の誰かが出張等で不在でも、他の教員が対応できました。二つ目として、学年担当教員間で、児童の様子や対応について情報共有することが大幅に増え、学級間での指導の差がなくなってきました。

課題として3点あります。一つ目は、児童や保護者に対して、誰が担任なのか周知が徹底できていなかったことが挙げられます。そのため、相談したいことを伝える相手に迷い、不安な状況を生むことにつながりました。二つ目は、複数の教員の目で児童を見ることができる反面、従来に比べて個々の児童とのつながりが薄くなるがありました。三つ目として、初めて導入したシステムのため、児童、保護者、教員がこの仕組みに慣れるのに時間がかかりました。

### 3 目標の達成状況の診断と改善方策

#### (1) 保護者アンケートより

##### 質問1 お子さんは、学校生活を楽しく過ごしている。

肯定的評価96%。児童の学校生活の満足度が高いことが分かります。さらなる向上を目指すには、児童が自分自身の成長を感じられるような新たな目標（例えば、興味ある分野を深く学ぶ、新しいことに挑戦するなど）を設定するような取組を行いたいと考えます。

##### 質問2 お子さんは、授業が楽しく分かりやすいと言っている。

肯定的評価81%。以前は「分かりやすい」と評価されていた授業でも、新しい型式の問題になると自分で解けない児童がいます。児童が、自分で考える力を養うために、単に解き方を教えるだけでなく、思考を促すような働きかけをしていきます。

##### 質問3 お子さんは、あいさつがよくできている。

肯定的評価89%。身近な大人があいさつをしていないと児童もあいさつを学ぶ機会が少なくなってしまう。教職員と保護者など周囲に大人が積極的にあいさつする姿が、児童にとって一番よいお手本になると考えます。

##### 質問4 先生は、子どもの話をよく聞いてくれる。

肯定的評価91%。教師が児童の話を聞く姿勢を示すことで、児童も安心して話をするようになります。傾聴三原則（相づち、うなずき、称賛）を大切にしていきます。

##### 質問5 先生は、子どもたちの教育に熱心に取り組んでいる。

肯定的評価88%。教員のモチベーション向上は、児童の学力向上や学校生活への満足度につながる大切な要素です。日々の児童の成長や変化が大きな喜びとなり、教育へのモチベーション向上につながります。

##### 質問6 先生は、分かりやすい授業づくりに努力している。

肯定的評価92%。教員が、授業の相互参観や教材の共同開発、定期的な情報共有の場を設けることで、互いのよい点を学び合ったり、一人では思いつかないようなアイデアが生まれたりします。全教員がチームとして、授業力向上に取り組むことで、個々の教員の負担を減らし、学校全体の授業力向上につなげます。

##### 質問7 学校は、協力一致鬼ごっこ大会などの地区行事にも積極的に協力している。

肯定的評価90%。本校では、児童の豊かな成長を支援するため、地区との連携を大切にしています。これからも、地区と学校が協力し合うことで、児童は多様な経験ができ、地域への愛着や誇りを育むことができると考えます。

##### 質問8 学校は、子どもの体力づくり、学力向上、道徳心の育成に熱心に取り組んでいる。

肯定的評価94%。本年度、体力アップを重点指導項目の一つに掲げ、体育授業の充実、運動機会の確保に取り組みました。今後は、日常生活での健康習慣の育成にも力を入れています。また、道徳心では、1年生から6年生まで、それぞれの発達段階に合わせた道徳教育を展開できるよう、まずは児童の発達について学ぶ研修を計画しています。



**質問9 学校は、きれいで整っており、子どもにとって過ごしやすい環境である。**

肯定的評価 95%。児童が安心して学校生活を送り、学習に集中できる環境を整えることが大切です。また、物理的な環境だけでなく、心の側面からの居心地のよさも大切です。児童の成長やニーズに合わせて、環境を定期的に見直し、改善していきます。

**質問10 学校は、保護者の悩みや相談に、適切に対応してくれる。**

肯定的評価 86%。学校が保護者の相談に適切に対応するためには、特定の教員だけでなく学校全体で組織的に対応することが重要と考えます。また、相談しやすい雰囲気をつくることや、学校生活について積極的に情報発信し、保護者が学校を理解しやすいように努めていきます。

**(2) 棚尾っ子アンケートより**

「質問2：先生に相談できますか。」の肯定的評価が69%と低い状況です。児童が学校生活で安心して教職員に相談できるよう、学校として次の改善策に取り組みます。

①相談しやすい環境づくり

児童が悩みを打ち明けやすい雰囲気をつくるため、心の教室の場所を配慮していきます。また、児童が安心して相談できるよう、心の教室相談員やコーディネーターが連携し、きめ細やかな対応ができるよう心がけていきます。

②全教職員での対応強化

すべての教職員が教育相談の重要性を理解し、日常のあらゆる教育活動の中で児童の様子に配慮するよう努めます。定期的に学級担任による面談も実施していきます。これにより、児童の変化を早期に察知し、積極的に支援できる体制を構築していきます。

③チームでのサポート体制

担任が一人で抱え込まず、教職員全体で情報を共有し、スクールカウンセラーやスーパーバイザーなどの専門家と連携しながら、児童の支援を進めていきます。

**(3) 教職員アンケートより**

「質問12：勤務時間を管理し、適正な時間で仕事を進めることができるように努力している」ですが、現在、国を挙げて教員の働き方改革を進めています。これは、教員が児童と向き合う時間を増やし、授業準備に集中できる環境を整えることで、教育の質をさらに向上させることを目的としています。時間外電話対応の見直しや、学校行事の精選、ICTを活用した業務効率化などに取り組んでいきます。地域・家庭・学校が連携し、児童のよりよい教育環境を社会全体で築いていきたいと考えます。

**(4) 学校関係者アンケートより**

「質問6：学校は学校公開の取組に努力している」ですが、これまで以上に、学校での児童の様子を身近に感じていただくため、積極的に学校公開、学年公開、学級公開、給食参観等を実施していきます。児童の授業への取組や休み時間の様子、友達とのかかわりなど、児童の普段の学校生活を見ていただく貴重な機会と考えます。

**4 評価の成果と課題**

今年度の学校評価において、いくつかの項目で改善の兆しが見られました。これは、日頃からの児童と教職員との信頼関係の構築をはじめとする、保護者及び地域の方々の本校の教育活動へのご理解ご協力のたまものと思われまます。特に、児童が「学校は楽しい」という肯定的な評価が改善傾向であることは、安心できる場所づくりにつながっている証ではないでしょうか。

今回の学校評価で得られた成果と課題を真摯に受け止め、今後も保護者や地域の方々と連携しながら、よりよい教育活動につなげていきたいと思ひます。評価で「ややあてはまる」とされた項目について、「よくあてはまる」となるよう、教職員一同、改善への努力を続けていきます。